

公益財団法人ポエック里海財団

令和5年度 事業報告書

(令和5年12月1日から令和6年11月30日)

当財団は、ポエック株式会社が CSR の一環として平成 20 年から取り組んでいる小佐木島の再生プロジェクト事業（小鷺島バイオアイル計画）を発端とし、広く瀬戸内海の里海の再生及び保護を目指し、不特定多数の者の利益の増進を目的としたものを実施する事業体として、前身である一般財団法人ポエック里海財団が平成 23 年 12 月に設立した。

当財団は、「持続可能な経済の実現にむけて、私たちが育む自然環境、歴史、文化の保護に貢献するとともに、広く一般に瀬戸内海の里海文化への理解と関心を芸術的観点から醸成し、環境再生の研究への助成と人材育成を行うことで社会に貢献する」ことを目的に掲げている。

以下、令和5年度に実現した実施事業の概要について報告する。

財団の中心となる事業は、「離島再生事業（小鷺島バイオアイル計画）」、「里海の環境を保護する人材育成事業」、「情報公開・普及事業」であり、当財団令和5年度期の活動実績としては、下記のとおりである。

1. 植樹活動、清掃活動

令和6年4月6日（土）にボランティア活動として、総勢 85 名で桜街道再生植樹、清掃ボランティア活動を実施した。

本活動は、限界集落化した小佐木島において、古民家・耕作放棄地の再生及び島外からの桜並木再生植樹・清掃ボランティア、里海文化に触れる島内ウォーキングを通して、里海文化の振興活動を実施することにより、島外からの人の誘致及び島民との交流による地域活性化を目指すことを目的としている。

本年度の植樹祭は、ツツジ 30 本を植樹した。植樹活動と並行して、海岸に流れ着いているゴミの回収活動を実施し、海岸の景観保護に務めた。

小佐木島をより美しく、また多くの方に知っていただけるよう、植樹活動は、今後も継続しておこなっていく方針である。